

割を占めている。エレベーター設置の必要性は十分感じていることから、設置に向けて施設のどの場所に設置が可能か現在調査を進めている。
(町長)

議席10番

田山 文雄 議員



認知症対策について

Q 認知症の早期診断や早期発見ができる体制づくりが重要であると思うが、当町の取組について。

A 後期高齢者医療制度への移行時に記入いただく調査票の結果を精査し、認知症を疑われる方には介護予防教室への参加を促している。9月は認知症を知る月間にあたることから、認知症に関する啓発を推進し、10月には新たなプログラムとして「認知症声かけ模擬訓練」を実施する予定である。
(福祉部長)

Q 近年国際的な研究によって、

難聴と認知症との関連性が実証されており、予防の観点からも補聴器が必要であると思うが、購入費用の助成の考えについて。

A 医療機関からも、認知症患者における難聴は認知機能の増悪を促進する要因であり、補聴器装用が認知機能を改善したという報告もされている。町としては、社会参加等による認知症の予防を推進するとともに、補聴器購入に対する助成についても費用対効果を含め調査を進めていく。
(福祉部長)



所有者不明土地対策について

Q 全国的にも所有者不明の土地が増えており社会問題にもなっているが、当町における現状と今後の取組について。

A 所有者不明の土地については、個人と法人分を合わせると34件84筆である。国で制度化された地域福利増進事業について、町としても調査・研究を進めていく。
(総務部長)

消費税引き上げに伴う対応について

Q 消費税の引き上げに伴う対応として、様々な予算や税制措置が予定されているが、当町における周知の取組について。

A 国の負担軽減策の一つである「プレミアム付商品券発行事業」を実施し、要件を満たしている対象者にチラシ及び申請書を送付したところである。また、境町商工会が町の全額補助により2年連続で実施してきた「ふるさとクーポン券事業」についても同時に実施し、更なる消費喚起を図っていく。
境町商工会では、軽減税率制度やキャッシュレス決済によるポイント還元事業の説明会時に、軽減税率対策補助金の活用を説明し周知を図っている。
(秘書公室長)



夏休み期間中における議場の有効活用

今夏の猛暑対策、また、学生の皆さんに議会をより身近に感じていただくため、7月22日から8月23日までの夏休み期間に議場を自習室として開放いたしました。期間中は、延べ38名の中高生が自主学习に取り組みれておりました。



夏休み期間 中高生の自習室として議会議場を開放しました！